

聖隷浜松病院外科専門研修プログラム (聖隷浜松病院)

1 はじめに

市中一般病院や大学病院などの勤務地を問わず、外科医に求められる最も重要な能力は「手術」です。これは時代や専門医制度が変わっても揺るがない普遍的な根幹であります。本プログラムでは聖隷浜松病院が従来から重視してきたこの基本理念を踏襲しつつ、学術面の修練にも配慮した研修環境を提供します。



プログラム責任者

聖隷浜松病院 呼吸器外科部長 中村 徹(前列右から4番目)

2 目的

専攻医が手術をはじめとする外科領域の基本的診療能力を修得することを目的とします。そのために「然るべき学年に然るべき環境で然るべき修練を積む」ことが出来る体制に加え、専攻医個々の要望に応じたサブスペシャリティ研修や施設間異動が可能なプログラムで応えます。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

基幹施設である聖隷浜松病院は ①消化器外科②心臓血管外科③呼吸器外科④小児外科全てのサブスペシャリティ領域学会の修練施設です。これは全国 1277 の日本外科学会指定施設のうち 92 施設のみの希有な環境で (2015 年日本外科学会調べ)、年間約 2000 件の手術も併せて全領域に対応した十分な修練を約束します。腫瘍外科だけでなく、希望者は救急・外傷外科の研修を受けることも可能です。常勤の Acute Care Surgery 学会認定外科医 2 名とともに、外傷チームの一員として trauma code に対応し、重症外傷への対応を身につけることができます。

また手術経験だけでなく学会発表及び論文執筆も奨励しており、手術修練のみならず学術面でもバックアップします。更に大学院進学希望者には浜松医科大学の社会人大学院プログラムに参加することで、臨床研修と並行して研究を行うことが可能です。

これらの学術活動を支える各種検索ツールや電子ジャーナル等の環境整備だけでなくその利用に精通した優秀なライブラリアンが常駐しており、サポート体制も充実しています。

(2) 専門研修連携施設

サブスペシャリティを含む将来的な進路や家庭の事情、あるいは興味関心などを勘案して連携施設での研修を決定します。連携施設研修の時期や期間については個別に調整します。

浜松医科大学医学部附属病院、静岡県立静岡がんセンター、聖隷三方原病院、聖隷佐倉市民病院、聖隷横浜病院、聖隷淡路病院、聖隷富士病院、藤田医科大学病院、島根大学医学部附属病院 (高度外傷センター)、順天堂大学附属順天堂医院、沖縄県立宮古病院、小田原市立病院、土浦協同病院

4 専攻医受入数

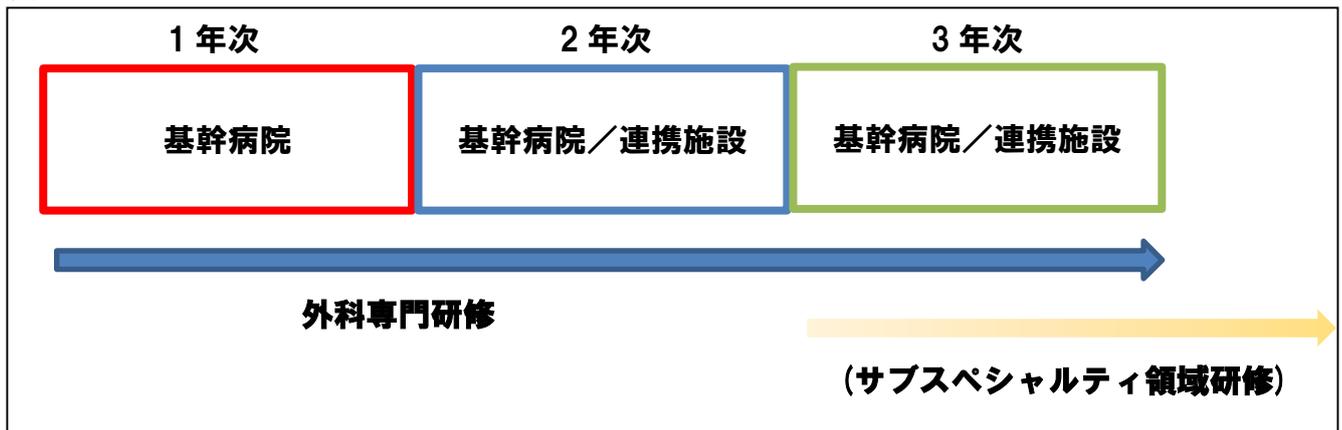
5名

5 研修期間

原則3年間

6 研修計画(例)

例1



7 問い合わせ先

(1) 聖隷浜松病院 人材育成センター

E-mail: hm-kenshu@sis.seirei.or.jp

電話: 053-474-2261 FAX: 053-474-2262

(2) 聖隷浜松病院外科専門研修プログラム 統括責任者 呼吸器外科部長 中村徹

E-mail: tonakamu@sis.seirei.or.jp